



感謝祭の最後にはファンと選手で記念撮影

— フォレストリーヴズ熊本ファン感謝祭 —

感謝の気持ちを伝えるために

7/27 市と連携協定を締結しているフォレストリーヴズ熊本が旧豊野小体育館でファン感謝祭を行いました。いつも応援してもらっているファンの皆さんへ、感謝の気持ちを伝えるために初めて開催されたもの。当日は約80人が参加し、紅白戦の観戦やサーブ体験などで交流を深め、会場は歓声に包まれました。



カレーや地元産のレンコンを使ったサラダなどがふるまわれた

— 家族連れなど100人超でにぎわう —

世代を超えた交流を

7/27 松橋西防災拠点センターで「松橋子どもふれあい食堂」が開催されました。住民らの世代を超えた交流の場を作りたいと、松橋小校区内の民生委員児童委員や食生活改善推進員などの有志で構成する実行委員会が初めて開催。参加者たちは手作りならではの温かみのある料理を楽しみました。次回は10月に開催予定です。



泥だらけになりながらビーチフラッグを取る子どもたち

— 地元農業者などが主催する田んぼでのイベント —

泥だらけではしゃぐ子どもたち

7/13 松橋町豊福地区で「田んぼ遊び&田植え体験第5回田んぼハック」が開催され、子どもたちのにぎやかな声が響き渡りました。「子どもたちが楽しめる場所を」と地元の農業者たちなどが企画し始まったこの取り組み。子どもたちは、田んぼの中で泥だらけになりながら、ビーチフラッグなどを楽しみました。



移植ゴテを使って土器片を探す児童たち

— 豊福小6年が遺跡発掘体験 —

地元にある遺跡に直接触れる機会

6/30～7/2 豊福小6年の児童たち約90人がクラスごとに分かれ、「豊福神社境内遺跡」内にある同小グラウンドで発掘体験を行いました。児童たちに遺跡に触れる機会を通して、地域への愛着を深めてもらおうと、市教委が企画したもの。児童たちは作業員に掘り方を教わると、次々と土器片を見つけ、歓声を上げていました。



選手からサーブのアドバイスを受ける児童

— 宇城市小学生夏季バレーボール教室 —

技術向上と選手たちとの交流を楽しむ

8/2 ウイングまつばせで行われ、市内外のクラブ4チームから44人の小学生たちが参加しました。市バレーボール協会主催。この日は、フォレストリーヴズ熊本から選手6人が参加し、基本的な動作の指導を約2時間行いました。子どもたちは「教えてもらった股関節の動きをレシーブに生かしたい」などと話していました。



来店者たちへ購入を呼びかける生徒たち

— 誘致企業と高校生が20周年を盛り上げる —

市の認知度と魅力向上のために

8/1 (株)九州フジパンと松橋高校が市発祥の不知火みかんを使用して共同開発した市制20周年記念オリジナルパンを発売。この日、同校の生徒たちは、イオン宇城店とゆめマート松橋店で試食販売会を実施しました。試食をした人たちからは「さっぱりしておいしい」などの声が聞かれ、次々と購入していました。



気になったパン店の前でお目当てのパンを探す人たち

— 県内外から10のパン店などが集結 —

多くの人に立ち寄ってもらうために

7/19 道の駅不知火でしとらすマルシェが開催されました。このイベントは、特産品のかんきつ類(シトラス)と熊本弁の「しとらす」をかけ、市地域おこし協力隊と同施設を運営するアグリパーク豊野が初めて開催。県内外から10のパン店やキッチンカーなどが出店し、たくさんの人でにぎわいました。



表敬した松橋小の児童たち

— (一社)日本善行会の青少年善行表彰を報告 —

みんなのために自主的に活動

7/18 松橋小4年の垣田真愛さん、北田千陽さん、深町美月さん、山本姫愛さん、6年の緒方宏雅さん、渡邊真悠子さんが同会から表彰され、うち5人の児童が平岡教育長を表敬訪問。学校の花壇を整備して、みんなのために自主的に花を育てた渡邊さんは「育てた花がみんなの癒しになっていたらうれしいです」と話しました。